

神戈陵を渡る風

令和3年度 川辺高校 校長通信 第013号

令和3年7月2日(金)発行

7月が始まりました。本日で期末考査が終了しました。皆さんの目標達成度はどうでしたか？手応えはありましたか？「人事を尽くして天命を待つ」の心境まで至ったでしょうか？上手くいった人は、この調子(ペース)を続けましょう。失敗したかとも思っている人は、これから夏休みがあります。自分の学習を振り返るチャンスです。焦らず、一步一步前進していけばいいのです。悲観して、諦めたら、そこで終わってしまいます。もったいないことです。がんばれ(顔晴れ)辺高生。

もうすぐ夏本番だ。

新型コロナ感染症に 備えて!!

6月26日(土曜日)

私は、この日の午後2時に「かごしま県民交流センター」の6階ギャラリーにいました。鹿児島県が行った新型コロナワクチン大規模接種を受けに来ていました。インターネットによる受付後、かなりの申し込みがあり、今回は、ダメだったかな？と思っていた矢先、予約内容確認メールが新型コロナワクチン接種の予約サービスから届いていました。ワクチンの接種に不安を抱いていましたが、私は、自分の健康状態といつものかかりつけ医に相談し、今回の接種を決断し、受けてきました。事前に、ワクチンについて色々資料を調べることで、「漠然と抱いていた不安」はかなり減少しました。後は、接種後に起こるかもしれない副反応に注意するだけです。事前に薬剤師さんとも相談し、副反応で発熱や強い痛みが出たときの鎮痛剤を入手したことも、不安解消に役立っています。

私たちは、未知のものに対して、不安感を抱き行動・思考するのは、当然のことです。不安を解消するには、そのことについて理解することが大切です。待っているだけでは何も進みません。自らの行動(調査や相談すること)が大切です。それでも、不安が解消しない事柄は、実行しなければいいだけのことです。ワクチン接種についても、全く同じです。本人が不安ならば、受けなくていいのです。そのことによって、他人がその人を誹謗中傷したり、無視したり、避ける(遠ざける)ようなことは、絶対にしてはなりません。これは、人権無視や人権侵害に他なりません。

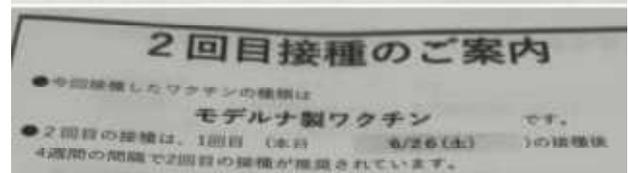
川辺高校の生徒・職員が、安心に過ごすた

めに、今できる対策を納得した上で実行して欲しいと願っています。

ちなみに、ワクチン接種後の私の体調ですが、重大な副反応は出ていません。注射した場所の痛みと少しの腫れを感じ、触ると少し痛いだけです。また、事前に準備した鎮静剤も使用していません。



1回目接種済証



【注意】

新型コロナウイルスのワクチン接種に関連した詐欺が起こっています。注意して下さい。私の場合、今回のワクチン接種では、事前に購入した鎮静剤以外の費用は全くかかっていません。電話やメール等でお金の入金など行うことはないので十分注意しましょう。なかには、「家は借家ですか、持家ですか」等と質問する怪しい電話もあったそうです。

【注意】2

新型コロナワクチンの接種対象は、

▷ファイザー社のワクチン:

接種する日に12歳以上の方

▷武田/モデルナ社のワクチン:

接種する日に18歳以上の方

皆さんは、教室に掲げられている「校訓」と一緒にある「座右の銘」を知っていますか？ 昭和39年に同窓会が元鹿児島大学教授の川上南溟先生に揮毫をお願いし、そのコピーが掲げられています。

その座右の銘について考えてみましょう。

川辺高校 座右の銘

忠実奮自学 不断刺戟新 競進期優越 弘毅正大心

制定時期は不詳。旧制川辺中学であった大正7年頃(100年以上前)には 講堂正面に掲げられていた。全校生徒が学生生活の指針として朝礼で斉唱していたと聞く。

「こう きせいだい弘毅正大こころ きようしんゆうえつの心 き競進優越ふだんしげきを期す あら不断刺戟ちゆうじつふるを新たにし じがく忠実奮ちゆうじつふるって自学せん」と読み、本校の神戈陵精神の中核という位置づけは、精神的支柱であり、100年以上にわたって本校の学徒を鼓舞し続けてきた重みのある言葉である。

出典 研究紀要神戈陵 創刊号の迫田校長(第16代)の創刊に当たってより

【意味】(校長の解釈)

弘毅正大の心

心が広くて、意志を強固に持ち、正しく堂々としている心を持ちましょう。

競進優越を期す

そのためには、お互いに抜きん出るように競い合いながら、勉学に励むことを期待しています。

不断刺戟を新たにし

また、日常のなかにある、新たな刺激を発見できる(見いだす)ことを求めています。

忠実奮って自学せん

積極的に、労苦をいとわず勉学に励み、自ら「弘毅正大の心」を会得してください。

【参考】

唐代に確立された形式のものを近体詩といい、四行で構成されているのを「絶句」と言う。川辺高校の座右の銘は、五言絶句の詩である。また、絶句の構成は、次のようになっている。

- ・起句 …… 第一句 (ある内容を、うたい起こす)
- ・承句 …… 第二句 (起句をうけて、内容を発展させる)
- ・転句 …… 第三句 (全二句の内容を別の内容に転じる)
- ・結句 …… 第四句 (詩の全体をまとめる)